

平成26年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	アジアバロメーターを通じたアジア人の生活・規範・価値の実証研究
研究代表者名 (所属・職)	猪口 孝 (中央大学・法学部・教授)

【評価意見】

本研究課題は、研究期間終了後も、その総括的な成果の取りまとめが進められると同時に、様々な個別テーマに関する新たな成果も生み出している。前者に関しては、ソースブックや事典の刊行、後者に関しては、「生活の質」に関する体系的な分析、価値観や社会関係のあり方に注目した社会類型論の構築、social capital と健康との関連分析、市民と国家の関連に関するモデル構築などの進展が挙げられる。これらの成果には、欧米で発展した理論がアジア諸国においてどのような形で適用可能であるかについての重要な知見が含まれている。以上の成果の多くは英語により国際的に発信されており、被引用件数を見ても、学界への貢献度には大きなものがあると判断できる。同時に、収集された調査データも英語によって公開されており、関連する領域の研究を行っている世界の研究者に恩恵をもたらしている。また、得られた成果を、マスメディア等を通じて広く社会に還元しようとする努力もなされており、数は多くはないが、研究に携わった若手研究者も順調に業績を伸ばしている。その上で、今後更に望まれることとして、何らかの形での調査の継続と、世界的なスタンダードとなるような、アジア社会の理解に係る新たな理論的枠組の構築を挙げておきたい。